支今後の政治的町向にあり、

府當面の最大髁心事は日本軍が梅津、何應欽協定に基き中央軍の北上部隊の撤收を要求す

國民政府が大掛りな動員工作をしたことも全く

蔣介石氏としては武力をもつて現地協定の履行を妨害し得ぬ以上これを默認する他はない譯であるが、網民

現地解決妨害せば

適切措置を講ず

我陸軍、國府動向監視

許可があつたので一

急遽擧つて下山

山し原際復歸十

三相施政演説要旨を

近衛首相放送

廿七日午后八時から

定した、その事情左の如

次の共同作態提議も俄かに信を置き離くいよいよ長期抗爭に入る場合全國統一最線の持續はさらに困難とみられ、日本軍と衝突し職局が擴大する場合これ等諸軍閥は別個の政治的意圖のもとに結束する惧れあり、共産黨軍隊、中央集權化の過程には依然幾多の矛盾が獲存し大小不平軍閥の整理がまだ完了してゐない、中央軍の酸備不充分なること、上海支那財界の有力な反戰論が張公權、吳鼎昌氏を通じて國民政府に傳へられたことである。

、英米嗣國とも極めて消極的で特に英國大使ヒューゲッセン氏は蔣介石氏に對し事件不擴大を勸告したといはれ、國際情勢に關する在外大公使からの報告が不利なこと

國府、軍界の中央部と屢次協議した結果、現地解決法を繞る日本軍との衝突を極力回避する妥協方針を決박四日發展追了蔣介石氏は事變勃發以來廬山にあつて内外の情勢を注觀萬全の策を講じてゐたが、南京隆遠

日本軍どの衝突

の情勢悉く不利

月七

通频

盟支社長

二日暦任した

人的要素充實に

文官任用令公布

政府で準備に着手

高性の陶治、建園精神の演奏 館の土に登用の途を開くると しく有館の材を吸收するに至いに人材登用の途を開てると共 しく有館の材を吸收するに至いに人材登用の途を開てると でした、而して先般の行政機構 文官特別任用令ならびに委任 を計つた結果、現在官吏は著 文官特別任用令ならびに委任 を計つた結果、現在官吏は著 文官特別任用令ならびに委任 でた、而して先般の行政機構 本なつた、右兩任用令は目下 改革によつて建國の第二期積 法制處において償寅審議中で で本たので政府當局では一 総性を持たしめ、大體現職官 でになつてゐないが諦別國の る官吏の事務的能力の向上 吏を基準にすると共に新進有 のる官吏の事務的能力の向上 東を基準にすると共に新進有 のる官吏の事務的能力の向上 東を基準に対象を開くる。

鐵輸入

までに決定明後年六月末

昭和十四年六月 に決定した

反機をすばやく見てさって、田中は、弘子の少女らしい。

競馬

0

群はじめた

秋がきて

廿六日(月)

電末の関根のこさぬ徹底的 なる指置、それこそが徹底さ れを北支に望むは未だ早いか 増さるれば豁然たる夏宏、そ

機能網を外頭使臣に向けた関内反對分子にこそ提るべ わかるつもりです。

料の前続ひごしてうけごつてのためにさしあげる職業の給 なつて、意志に戻するし、だ をはづかしめるをうな結果に なって、意志に戻するし、だ

でさいろの橋が 女はひごり あたまにのこり

||次民衆運動化せ ||動は鴬部共産黒 の排日熾烈化 別議會報告演説を開催する 人事往外

對日取引を嚴禁

かのたしになるかも知れませ

本大藤義夫氏(商栗)二十三 日來京ヤマトホテル 日來京ヤマトホテル 日來京ヤマトホテル 日來京ヤマトホテル 日來京ヤマトホテル 日來京中大(大連土建協會)同 一村政芳氏(富社員)同 一村政芳氏(高社員)同 一村政芳氏(高社員)同 一村政芳氏(高社員)同 一村政芳氏(高社員)同 一村政芳氏(高社員)同 一村本部、日本田子宮彦氏(新洲籌州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州籌州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州籌州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州籌州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州籌州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州等州)同 一村本部、日本田子宮彦氏(高州等州)同 京 相手の出かたに、びつくにおさめておいてください りかへしてきて、弘子は酷色

ださい

年後八時より首相官邸から全 「関中間をもつて右二演説の内 にわたつて放送すること」な ▲ 國田幸雄氏 (同) 同 ▲ 西本幸姓氏 (同) 同 ▲ 西本華氏 (敦化金融會社 長) 同 ▲ 県占好人氏 (蕭錄) 同 本房上野人氏 (蕭錄) 同 本房上野人氏 (蕭錄) 同 本房上野人氏 (本) 日 本房上野子 (本) 日 本子 (本)

商工兩省協議の結果、前議會れる免除期間に就ては、大赦れる免除期間に就ては、大赦

▲作田 莊氏 (教育家) 同 ▲作田 莊氏 (教養) 同 ▲前非清彦氏 (官吏) 同 ▲正本慶秀氏 (教養) 同 ▲上田 又次氏 (教養) 同 ▲上田 又次氏 (教養) 同 ●上田 又次氏 (教養) 同 とれはいけないさおもつた。まわりに人のあるこの場所もわるいご考へたので助定をもわるいご考へたので助定を

(8

特別議會をは一十

程済、産業政策に大口喜六、 は一般権政に関しては島田俊 は

質一郎氏に決定する 社大は無井

大藏省關稅調查委員會

上程法案審議

兩院擧國一致を唱道す

(東京國通)北支の形勢はわが方の事件不擴大の根本方針 勝守によつて去る十九日冀祭 當局が自發的解決便告申出で を容認し、冀察側はこれが賞 大平靜に歸しつゝあるが、陸 軍中央部としては今後の態度 に關し次の如き方針を堅持し にこれる。

撤退

卅七師の北平

まったわるくおもはないで下さい あるきながら アスファルトの道をぶら 言問種の方に、

ぼくはじぶんて苦労したこ はないが人の苦しみだけは

秋がきて さころがよわり なんざ女が

うで思つてゐるのだちう? さめ、さつさご橋の向ふに消

えてしまつた。

酒もあたまにのこらない かもこころは若かつた。 いろくな質を知つてぬたいろくな質をしつてぬた くな酒を

なんご酒が そのあくる日の あたまにのこること

こ ろにのこるこさ



奸漢殲滅委員會組織

大連の有志間に 大連の有志間に 大連の有志間に 大連の有志間に 大連の有志間に 大連の有志間に 大連の方面の有 谷高工會議所會頭、中西端線 になる時間同志會の 理事、具瀬市會議長等を推す。 とも決議した決勝文をの如した、 大連和役所勝事場で開會、 れを直ちに近衛育相以下中央 別大郎氏を座長に推し職事に 總督府、支那駐屯軍等に設付 石決議した決勝文をの如し、 政府の方針に協力し奉國 とこゝし宣言、決議をなしこ 、 とも決議した決勝文をの如し、 政府の方針に協力し奉國 ところし宣言、決議を推す の達成を期す の達成を期す の達成を期す 一致協力時間に善度するととなるに支那駐屯軍等に設付 石決議す

(四九) (禁上旗)

つきのやうなお説なら、なにあたるかもしれませんが、さ 『こんなここをすること語に ひ、五

眞里畵

雄 作

氣特がはれようかごおもひまもらふこごにしたら、お豆に わりやうもなかつた。 さうまでいはれるだ。こだ

その上、この急場をのがれ

特に、ぼくのやうなものにをこさわってはーー うな金。しかも、一月さがし てまだみつからぬ職業までさ いれるさいふその親切ってこ

から、どうで家をわるくせず しこみながら、田中はさ、やはやくできるお手際ひなのだ 弘子の手に、金のつトみをおは、これがもつさも手つこり さ、そつご離をふせてある

使ひやうによつては人をいかきたないものです。しかし、

もごより、金さいふものは

(-)

同に鑑み何れも影画一 に鑑み何れも影画一 兩院各政黨政派と

無風狀態で終了か

り可決、午後五時半散會したき諮問の結果、大蔵省原家通

免税とすること

に加へられること」なった三

ナショナル

大阪コンコール

大體つぎの如きプ

り、何處まで戸惑ふソ聯か

秋の文字はやくも競馬の上

仕事はきつこさがしてあげ

になって

8

たいけないてせうかり

ひざりの女が

トこの朝のこころにのこ

程される關稅政正中前議會で程される關稅政正中前議會で上相官邸に開催、特別議會に上相官邸に開催、特別議會に上

法律第四第(輸入税の従量、左の物品につき昭和七年

八月來滿

議士八名

V

多

野海部が嚆矢であるが、 満部が嚆矢であるが、 満部が嚆矢であるが、 満部

二回に至る新京地區防空準備関係より検討して全滅本演習の成績につきあらゆる角は関係の機関代表者研究會は日滅軍人で開発を加各なすべき演習を加各なが、

經濟部で

北支の皇軍将兵 慰問袋募集計 巾民の誠意に呼掛けるため 満鐵支祉で打合會

いてこれが具體的打ち合せ會議を行ふととになつた

全満各機關に檄を飛ば

丸の赤誠。披

けられた無誠盗る、伽兵献金 仕による慰問褒五千個(價格 六千國)を纏頭に次の通り献 金合計は金千八百九十七國九

神的に鼓舞激勵する

る電報は連

横するやう を が急務であるとされ、 が急務であるとされ、 総監 では更に本演習迄に完全に設 では更に本演習迄に完全に設 意見があり、あらゆる手段で方法がないであらうとの有力を以つて臨むより他に適當な 祭署員等と共力して責任

防空宿習研究會で決定さる

特たせる事となる模様であ 國防婦女會で

れることゝなつた、なほそのや協議し何れも近々其體化さ 果銃後の守りをいよく 結成中堅指汽洛養成

切られ與三二 新京署に逮捕さる

に三銭切手を貼ったに三銭切手を貼ったもの三七三通(正當三銭)▲ 産は五通▲日本切手 でもの三七三通(正 の切手を混合は五通本の の対手を混合なが のである。 でもの三七三道(正 をもの三七三道(正 をもの三七三道(正 をもの三七三道(正 をもの三七三道(正 の切手を貼ったもの のがする。

東京大相撲 干秋樂取組

上全新京を相撲の見書で沸された日本川本の長地であるが第三日目も ・新京警察署家族を始め遠く四一ではよりの團體等で腰つてる。昨日寄贈された日本川並にカップの敷々は入口に飾られた日本川並にカップの敷々は入口に飾らた。へもと耀いてゐるが更にた。へもと耀いてゐるが更にた。へもと耀いてゐるが更にた。一人と耀いてゐるが更にた。一人と「一人」

事變を反映して少々被 幅もので作年土用丑 場に入る鰻は殆んど釜

らが五百貫は下

から、 をいが蒲煌一人前が 大には中間所人の手 大いで捌いてあるが先 大した相違はない、 二十五日午前中の値 でにはなれば一個ス十 優になれば一個スト ではなない、 大した相違はない、 大した相違はない、 大した相違はない、 大した相違はない、 大した相違はない。

かに見やせによしと思ふつど 今日に及んだものらしくつま 機がに見やせによしと思ふつど 今日に及んだものらしくつま 機がよい本質 といふ事は萬葉集に大伴家持 宣傳したことが慣習となつて たいふ事は萬葉集に大伴家持 宣傳したことが慣習となつて たいか 事は 第二人 とである に鰻を食べば病気をせぬとか といふ事は 第三人 とである に鰻を食べば病気をせぬとか といふ事は 第三人 である に鰻を食べば病気をせぬとか といふ事は 第三人 である に鰻を食べば病気をせぬとか といる事は 第三人 である に鰻を食べば病気をせぬとか といる事は また といるのが り夏季身心の衰弱した頃に強 日

召喚して禁止を命じた、蓋し會の催しも二十四日主催者を の許屋淸七郎氏主催する浴衣

轉々として機をねら

中御見舞。

殺到に

局員は

料金不足のものが多い

といふ数字を示し今更ながら 認識のなさに呆れてゐる

新京獵友會の

汗だく

の活動をつづけてゐる の活動をつづけてゐる の活動をつづけてゐる では郵便料金改正値上 の等が相當 でないもの等が相當 新京中央郵便局では一年は例年に比べて二

古摺らせてゐる、最 一日分の不足野 射撃大會

まで、 は金三圓再射券一蹶五十錢で ある まで賞品がある。なほ射證料ブ、四、五等置時計、其他十等 七月廿五日 午前九時半

晚禱禮拜式 午後八時小 新京聖公會市內富士 新京聖公會市內富士

▲ 生用丑の日 ▲ 郵政總局殉職者尉靈祭午前 十時、護国般若寺 十時、護国般若寺 あ 可式說数 久泉 す(廿五日)

鰻屋の宣傳だが理窟はある

新京の

圓二、三十錢

を意味を持つものではないら た意味を持つものではないら なっるといふことは唯にも考

幾何の鰻を消費されるが、

すは土用丑

不便を感じてゐた

國防獻金超豪華版

特殊會社が投出す

一四日新京の講演を 主催側では世界 世紀

自轉者提供

で概金額を決定しつ」あるが 今のところザッと四十萬国は であるが、一方関東軍ではこ の莫大た献金を出來るだけ有 効な使途に充てたいと首をヒ ネつてゐるが、大體資材整備 過長以下 女史講演

・
、 これはまた國防獣金の のかに、これはまた國防獣金の のかに、これはまた國防獣金の のかに、これはまた國防獣金の のかに、これはまた國防獣金の のかに、これはまた國防戦金の のかに、これは長い

域防空演習の際新京聯合防護 中止する二十二、三兩日の新京區 てはと

笠島三段等 近く柔拳闘大會

暴の網が張られて手も足も出 を発援闘擧げての朦朧組大檢 整務機闘擧げての朦朧組大檢 を入り込んだ、時も時首都各 に入り込んだ、時も時首都各 に入り込んだ、時も時首都各 で内地へ歸還、るを得たが残った。 一方名を雪ぐ意味上國都新京人 に質の柔道と拳闘との實力を に質の柔道と拳闘との實力を 武士道的情けで釋放され辛しのの所持金とてなく笠島等のの所持金とてなく笠島等ののの所持金とてなく笠島等ののの所持金とでなく笠島等ののが持金とでなく笠島等ののが持金とでなく笠島等の一行は大 當 段

敷名希望者は本人御來談の事

玉 +

理

髮

院

丸重洋行支店

新京富土町四丁目ノ四

六一番

電話

通關代辨

引越荷作

業

ビスガ

今後絕對に禁

藝術的良心による場合でも

圏体主催たるべし

大會を開催すべく準備中である る集ひ 日 の出を拜す

き會終って誠思碑参拝 対京の日田時刻午前五時十八 日本基督教曾

で、明曜學校午前八時中一、朝の禮拜午前十時 一、朝の禮拜午前十時 一、朝の禮拜午前十時 本」 一夕拜午後八時 一夕拜午後八時

メソチスト教會 日本育兒院院長五十嵐喜版

認教「神の平和」 分 救世軍日曜講壇 日曜學校午前八時四十五

大事な選響 大事な選響 大事な選響

西五馬路三

號(郵政理管局前)

本原京大相撲河京場所第四日 本原京大相撲河京場所第四日 本野球 立数野新京クラブ、 西公園球場 本級季第一大競馬第二日 本級季第一大競馬第二日

取調べ微行に、信餘罪

取組は

右の通

部の之に負ふ所甚大な事数台を使用に供した 9つた、右は良く防護 中でる

換範とすべきであり

京は中止

吉田首都本部事務長等が臨席協和會よりは田邊首都本部長民生部では二十三日午後二時民生部では二十三日午後二時

分會結成式 民生部協和會

下、西田、大野、ジョンソンカの五名は同僚俱馬幸一、宮田中信親、オーストン、ベッ

中四日午後九時大正寺本堂前で(雨天順延)みんな一諸になって第つて御先祖さまをなぐさめませう。初めて御習ひをして上げますから手拭をもをして上げますから手拭をもずるがある。 大正寺盆踊り

サー

ビスガール募集

三歳迄の者五、六名採用

都

+

示

マ

委細面談の事

富久福カマド 力力

進品が

めし炊き具◇燃料代末炭一般五分◇三升炊き上げ十五分 めしが出来る

渡邊商行 新京大經路日之出莊三五電 ③3944 移轉並家號改稱卸披露 新京朝日通第二朝日ビル一階が設せるホールは皆様の御清遊をお待申します 麻雀ガール募集年齢三十歳迄麻雀の 向ふ十日間特別サービスいたし來る七月二十五日開店 主 綿龍莊改め 新京朝日通第二朝日との新京朝日通第二朝日との 五二五五季 座

通

業務擴張の為左記へ新築移轉仕候前倍舊の御引立を賜る樣伏して御願申上候申上候扨て弊公司儀每度格別の御愛願を賜り誠に有難く御禮申上候就而今般盛夏の候本年は殊更暑氣甚敷く御座候處皆樣には御變も無く遊され候や御伺 和十二年七月廿四日

2 こ三 六八 六八

NO

中 御 何申 げます

して御願申上げます。
して御願申上げます。
になりましたから何卒倍舊の御引立を賜り度く伏世五日より開業致す事になりましたから何卒倍舊の御引立を賜り度く伏般店內改裝の爲永らく休業中の所漸く諸設備も完備致しましたので愈々般店內改裝の爲永らく休業中の所漸く諸設備も完備致しましたので愈々を上げます。

3 0

社交ダンス教授

夏季講習會開催中 一科 帝都# ▼裏頭り (入會隨時)

山

青木ダンス教授所

細乞面談

新京吉野町一丁目

王

突場讓

3

早くも軍事

晚餐八時

豊樂劇場 の

管現すれば、本邦樂界を刺戯 地の二大本在となつてゐる 地の二大本在となつてゐる 地の二大本在となつてゐる 地の二大本在となつてゐる

茶喫朗明

報道戰

様(元扇方べど

タ

日類夕社

3

3

将樂壇の大立物世界的名 クライバー氏 クライバー氏 型委員は十二日陸軍省新開班 聖委員は十二日陸軍省新開班 書を製作することになった 今日活ーミリオン・レコードと提携し『夢の織兜』 中球の『飛死報告書』を吉村遠の『飛死報告書』を吉村遠の『飛死報告書』を吉村遠の『飛死報告書』を吉村遠の『水平浄波高し』

地格てざれば凶

寮に招かれて参りました何分 ます就きまして此度朝子の茶 お導き下さいます様お願ひ申 にも不馴れ者で御座いますが

を戴きまして有難く御禮申上 扇芳會館勤務中は種々御愛順

看③ 二九五二番 新京東一條通一四

金

适 b

子みふ路山郎三海津河 | 大好評廿六日迄續映 即二清洱河

傑の 高最

健口溝匠名

銀オ渡邊新太郎監督大友柳太郎主演

水戸黄門漫遊記の

事食覺味

松木田小泉 嘉

して物語は淚とロマンスに満ちた運命の悲劇 い美しさしまさに酷暑を忘れる陶醉の一とき 「トスカ」「カルメン」の素晴ら

おなじみ

明日の日曜は是非
明日の日曜は是非
銀座キネマヘ
が作
なん
のの日曜は是非

3

ジョ・レイジョ・レイジョ ジョ・レイ 開店サ · V1 レイジョ レイジョ ジョ・レイ 93 ジョ・レイジョ

カフェー麗女 3

岱

・レイジョ・レイ

ホー

サロン配 オアシスで 文藝顧問 ガンバハル博士 ある

を樂

9 3

させる あり

・レレイジョ

人生のライフ 0

てある めに

富麗女はその 人間生活の真相

分けることが必要である。 人生の嘘と眞實とをよく見

生きるには生きる方法を知 を究めることが必要である ることが必要である人生を 題が生れて來るのである にいかに生きるべきかの 死にたくない 死んでは

すで日

の名曲「ミニョ

お書休みのひここきに

新興大 世界に誇る

廣大な濕地開拓に

を開催して懸案の清州大豆製満州大豆工業は過般臨時總會

市局長が大陸經濟會議下打合せのため接端の際滿洲國側と打協企業務計畫を行ふ外北鮮三的方針を満立する事になった。 一個係者並に民間有力者を委員 に加へて同委員會を常設し日 は加へて同委員會を常設し日 に加へて同委員會を常設し日 は加へて同委員會を常設し日 に加へて同委員會を常設し日 に加へて同委員會を常設し日 に加へて同委員會を常設し日

(四十種) ニース ニュー 181、0 二大、元 154、三 15

| 市産合併概要

要品目四十二年六月

在滿業者結合

現地調

辨主義を强調して

內地農機組合

會社

本語ので、来るサカ目に公布 自社なが、その名称を「滿洲合 を放然料株式會社」と變更、同 自社なが、その名称を「滿洲合 を放然料株式會社」と變更、同 自社なが十三日の閣議を通過 を主意報 今夏工場建設に着 一人月五日軍人會館において同 一人月五日軍人會館において同 一手、康徳六年度年養設定十 一手、康徳六年度年養設定十 一人工場数地 身新炭績 黄道 一人工場数地 身新炭績 黄道 一人工場数地 身新炭績 黄道 一人経営 會社組織は特殊會社 であるが経営一切は三井に 一任 阜新炭利用の石炭液北具體化

一、新工場には目下ドイッに がて抽機購入のため出張折 個しつ」あるが早晩ミタベ 個しつ」あるが早晩ミタベ でアルコール抽出法を採用 でアルコール抽出法を採用 して新味を見せコストの低 断行する は一面が設は増養三百三 ・第一回辨込は増養三百三 ・第一回辨込は増養三百三 ・大部島の全下に歸することとなり態 なつたが新創立の日本油脂株 なったが新創立の日本油脂株 なったが新創立の日本油脂株 である。 なったが新創立の日本油脂株 である。 なったが新創立の日本油脂株 である。 なったが新創立の日本油脂株 である。 の音楽には不足である。 なったが新創立の日本油脂株 である。 日萬國と概算されて日本のよう

施洲における農具問題は先き に日本農稷具職問組合の結成 および同和合主脳園の渡浦に よつて果然表面の問題化し、 その後同和合の脳洲進出工作 楽者の活潑なる動きや誘發す 家に至のたが、本問題は今後

性的に普及され栽培面積も漸次であったが、最近總督府農林局の上、大きで多大の被害を蒙り凶作であったが、最近總督府農林局の上、大きで多大の被害を蒙り凶作をあたが、最近總督府農林局の上、大して居り二十三萬町歩を突破してゐる、特に本年童相で見る良好で既に本月教育より幾分增に見る良好で既に本月教育より幾分增の事態で部分的には油虫及アの事態で部分的には油虫及アの事態であった昭和十年以上の懸作であった昭和十年以上の懸作であった昭和十年以上の懸作

進政策に基き棉花耕作は全鮮【京城支局】南總督の農工併 豊作期待さる

三点(※00、00 三点(※00 ○)

四日 近衛内閣成立 支那四日 近衛内閣成立 支那四日 近衛内閣成立 支那四日 近衛内閣成立 支那四日 近衛内閣成立 支那四日 近衛門 英藏相、金政策不變解消 英藏相、金政策不變解消 英藏相、金政策不變解消 英藏相、金政策不變解消 英藏相、金政策不變不可 英藏相、金政策不變

▲滿洲石油株式會社 < 毛新鄉 工事 開札 七月二十六日 決定工事

海外經濟電報

商况

在滿內外銀行團

爲替維持に

奉天、哈爾濱で協力を申合せ

(七月三古日前場)

本ペルピン東愛署石油倉庫其他新樂工事 本ペルピン東愛署石油倉庫其他新樂工事 落札 二萬二千四百五十別 「18、100、00 日滿 土木 「18、200、00 草 場 組 「18、200、00 戸 場 組 「20、200、00 戸 場 組 「20、200 戸 場 組 「20、200 戸 場 に 「20 戸 場 に 「20 戸 房 に 「20 戸 の に 「20 土建ニュース

各地商品市況

東天中央銀行分行では現下時 画 本天中央銀行分行では現下時 画 本天中央銀行分行では現下時 画 本天中央銀行上り鈴木總經理が出 市中、銀行支配人、中國銀行支 配人、その他交通銀行代表者 一、時局を利用し電信爲替に 本をよる震闘しその他思惑に基 で、よる震闘しその他思惑に基 で、よる震闘しその他思惑に基 で、よる震闘しその他思惑に基 で、おくて率天、新京) を、まる、この程中央銀行会債 一、時局を利用し電信爲替に を、この程中央銀行の代 表者も、この程中央銀行會債 を、さる案子金融界の宇福 室に含合率天同線の二項目を なる者ペレーションに對して を、よる震闘しその他思惑に基 ・ に告め保持協力して之れが防 事とした、かくて率天、新京) を、まるととなつた を、一方へルビ 安東等全滅各都市銀行は北支 を、まるととなつた の維持に努力し爲替相場。 の維持に努力しることとなつた 飲い。 の維持に努力しることとなつた 飲い。 の維持に努力しることとなつた の維持に努力と

一、 時局を利用し電信為替に よる賣嗣しその他思惑に基 くオペレーションに對して は各銀行協力して之れが防 止に當り爲替相場の維持に 努力すること

經濟建設の

遂行に

是低 九萬七千回 是"400"00 你 是"400"00 你

李寄上 金

相場。

満洲側に協力

朝鮮常局積極的に準備す

白き處女地大照の怪魚百噺丑満列

100 市 田 組 100 東生 公司 岡東戶古荒入 生 田川井圓 東京株式 (短期) 新東 150、20 1 人の18月 第一日 150 1 人の18日 第一日 150 1 人の18 大清鐘日初 大清鐘日初 大 宗藏新臺東 阪 各地株式市況 V# CO V# 100 V#

大月中における一日 英國政府、國防稅案を撤回

國防稅案

の御相談に應しますなく御問合せ願ひますなく御問合せ願ひます 産業 相談所電業 支店

新京主李

#

曜

五.

H

新

置夜二回口演

元時半より

ステップも涼しそう

く踏

む

(発します) 利用願ひます。 に依領し難いことが御 用家單獨で曾祉の鶯菜 用家單獨で曾社の鶯菜 用家單獨で曾社の鶯菜 用家電線の採算。家庭用 用電線の採算。家庭計 所置もサインの考案設計

月七

◇曙町四丁目一脇坂ビル二階 ・ 家賃八七園十疊・八疊・十 ・ 小電話③六八六一 ・ 大和通六五電話③三三七四 ・ 大和通六五電話③三三七四 ・ 大和通六五電話3三三七四 所へ御一報下さい家貸間掲載御希望の向は

3.10 7.55

11.50 4.35 9.20

の首家御案内 電話3三三〇〇番 豊楽劇場

空家

映画御案内

廣告の御用は

新京キネラ H

一十歳前後の方、本

豊樂 副場

無敵艦隊 東婆三郎主族 新京キネマ ◇近日公開◇

リーム用最中發賣れ、油豆、鹽碗豆、の時率となりました

STATE AND IN

流浪の姉弟13.003.38

日明

皇軍慰問金募集ダン三時より八時まで 雨バンド特別出

雨バンド特別出演

新興キャピタルのハリキリを御覧下さ

ダンスキャピタル

・キャピタルニキャピタル

朝口座 毎日正午より

親切・迅速・康價第一主義
※天震町三十三番地
※天震町三十三番地
※天震町三十三番地
※ 新 (三) ニセカロ番・

・キャピタルニニキャピタル 菓子の御仕入なら

金乳一合七鐘 柳川牧場 製造(ミン二へ近七5 単主 職務 柳川 古っ

7

天野女史の美音に スに戲れる よ 马 ż サ .

タ





後二

時



衆議院成立 般の手續了

に來り秦總純、馮治安氏等を | 氣は俄然陰悪の度を加へ。甘参謀文長能賦氏は廿二日北平 | 平附近にある支那軍の對日空 | 天津廿四日憂國通 | 中央軍 | 鼓舞激勵した、これがため北

衆議院全院の

軍事扶助計畫

六十八萬圓支出可決

に對し年長者飯塚春太郎氏の それぞれ部長、理事の互選を 行つて再び識場に参集、右結 果の報告がありこへに衆議院 は成立を告げて散會、かくて

委員長、熱罰委員員 第一部 第一部 第一部 第二部 第二部 第二部 第二部 第二部 第二部

通り

質問一友

(東京園通」北支事壁旅遺將 兵に對する衆議院の慰問決議 共に對する衆議院の慰問決議 村六旧の本會議でこれを行ふ ことゝなつた、尙貴族院でも

北支避難民門司

誠意極まるその行

に見えた翼察部 か一時その影演 か一日をの影演

馮玉祥 對日即

計一時虚山かる関連」馮玉祥

邱戦建言

無禮なる支那側に於て負ふべきは勿論である。
「北平廿四日發國通」撤收を約諾したる支那側は、中的に一部兵力を撤退せしめたのみで、「北平廿四日發國通」撤收を約諾したる支那側は、中部兵力を撤退せしめたのみで、

駐屯軍當局、撤退を督

對平て僅

し城はか

「ぎない、又蘆溝橋對岸には「縣が集結四苑に」の輸送した兵力は約一團に「後方の田村附近」れば、第三十七師の撤退は「あり、左岸流溝上師の撤退は「あり、左岸流溝上師の撤退は「あり、左岸流溝上師の撤退は「明かに約二ケ管」

し蘆溝橋附近

軍參謀次長の暗躍に

| 監視してゐる

を携行した参謀大長龍斌氏は の代表として莫大なる買收費 南京側

あすの兩院で

皇軍慰問

一氏の軟器ぶりを痛烈に非難し との間に現地協定成立するや との間に現地協定成立するや との間に現地協定成立するや との間に現地協定成立するや



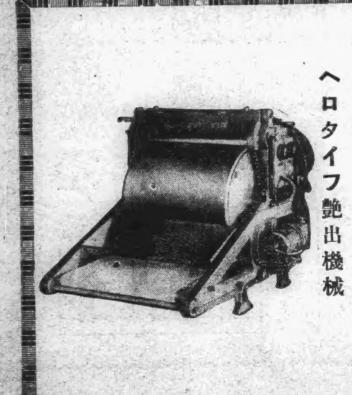
市國教育會智 昌智

人下沿大連署長 二十四日 大連へ 要田平雄氏 (三陸商會) 同 を田平雄氏 (二陸商會) 同 大野民治郎氏 (會社員) 同 大野民治郎氏 (會社員) 同 大野民治郎氏 (會社員) 同

日比野中縣歸京

を欲するものは心を失 に、の診明を讃みてな (東京関連) 拓勝省では朝鮮

牧済費



小型カメラ御持參者へお報せ 手札型引伸し一枚十錢 引伸シ可能原板(ライカ・コンタツクス)(ベスト判)(ブロニー半截判)(ベスト半截判)四種

今年ノ流行ハ小型ヨリ大キナ判へ密着同様ニ擴大スルデス

日本經濟使節團

英國產業聯盟と懇談

明發表

奉天省民衆聲

共同聲明書を發表

貨排斥が「國旨提唱」に

が「國史教育」

態度が顕著となつて來

より職術を變更し、先づ

初八月廿一日出後の筈であつである、クレーギー大使は最である、クレーギー大使は最

資料等である

の豫定便

清凉飲料水、果物

か

美人寫真も

事變獻金で前線將兵に發送

の光質を聞ることに

となったのであつた。一方際に且つ計畫的組織的なも

東郷切手

局では無爲替輸入の許可制

別なく實施す

工業化學會の

【東京國通】北支事變以來就 と最も有效適切に使用すべく を最も有效適切に使用すべく を最も有效適切に使用すべく を最も有效適切に使用すべく を最も有效適切に使用すべく

の夏蜜柑の現物も送附すべ く方法を考究中である ユース映畵を現像の上遊送、 また内地の恤兵風景その他各 地にある銃後の心張い實況を

他各

宣傳煽動はその以前よりもの一般國民及び軍隊に對す

運動を展開し、明確に知る機関のにその

満洲國經濟界は

日を定めて宣傳煽動を行 に、多・ に、多・ に日本民族に對

き談話を強表した田中中銀總裁は廿四日左の如田中中銀總裁は廿四日左の如

る民族運動は、

(二)

狩し来つた事をもつてもを「中華」と稱して獨りと呼んでこれを蔑視し、

國家發展 **寒定を繰上げたものと** 煙東の情勢新發展に鑑

レネフ大使

ヒ總統に信任

イド、美人電真三枚を分配する。一方では出征兵家族の生活に保證、萬潤漏をきか期するため財團法人愛國恤兵會、在郷軍人曾の支援と相俟つて官邊の活動を開始させることとなつた

る科中生活の無聊をなでさめるためぐんとくだけて慰問後

る陣中生活の無判をなぐさめ 士達の郷土新聞を急送する、

首都警察廳に 犯罪資料 **列室開設** 陳 任ベルリン計割り職大使ユレ
状棒呈

第は工事選集 第は工事選集

廣く犯罪に關係のある資料を 進歩改善に資する一端として 商本管察認では治外法權の撤 て刑事参考品陳列室 事務用品 一般

印刷

全般に三り好調

田中中銀總裁語る

搜査上必要な路標、其他鑑識財の宣傳文書其他書簡、犯罪財の宣傳文書其他書簡、犯罪財の宣傳文書其他書簡、犯罪 されること」なった、陳列される主なる参考資料は殉職者の 寫眞服装遺品、銃器彈薬類、刀 寫真服装遺品、銃器彈薬類、刀 意真服装遺品、銃器彈薬類、刀 の解任狀を捧基したの解任狀を捧基した

リンクーバーよりエン

へ・オブ・ブリテン語

育部長は互選の結果左の如く 東京國通】貴族院における 貴院各部長決定

門司着佐賀へ故田代中將遺骨

【門司國通】支那駐屯軍司令官として昨年五月赴任以來日官として昨年五月赴任以來日支熟善の大施をかざして多端力をかたむけ不幸今回の事變力をかたむけ不幸今回の事變力をかたむけ不幸今回の事變力を放出代 一郎中將の遺骨はた放田代 一郎中將の遺骨はたがある。

が高められた事は疑ふべくも一般的に支那民族の自負心

| 受場動とによつて不自然
文型階級の意識的計畫的な

東京駐剳英大使東京駐剳英大使

結果となつた。

(東京國通)東郷元帥の 情像を印面にあらはした 東郷切手(四銭)が八月 一日から強行された乃木切手 をに設行された乃木切手 に設いに加へて日本の 代表的兩將軍の面影が國 民の日常をみまもるわけ である、新切手は提督の 機を中央に、上方には菊 花御紋章をいたゞき僧綠 をの頗る落着いた色合で ある

二十一日午前十時半から大連 市大廣場ヤマトホテルに於い 市大廣場ヤマトホテルに於い 市大廣場中後一時半から引 續き懇親會に移り終つて大連 市外甘井子工場地帶を見學す る、尚同午後六時から引 大連 市東公園町協和會館に於て特 がある。

阪各新聞および現地にある兵 急送、東京、 起を促し率北民衆の

の限々に映寫する

- 離以下同聯盟代表者と最後管職団事務所でヴァーンピ産業聯盟事務所でヴァーンピー

に英國産薬聯盟はそれぞれ に英國産薬聯盟はそれぞれ に決した、さらにわれわれ は東亜經濟發展に闢する日 が好轉し次第討議を開する日 がが轉し次第討議を開する日 すべきであるといふに意見 なほ一行は三十日ロンドンで

見開事日れる通れ

發開通)

法の収縮を受けてゐないが、 ・ 無為替輸入にも ・ 無為替輸入は現 ・ で 制施行決定

地民衆の脈起を「 各方面に設設した 事北民衆に延いては三千萬 本天民衆に延いては三千萬 本人心に影響するところ頗る して超つに至れり

二三時四一八時四一人入二 分分分分

電③三一五六

不

手展等

言の道はないものをいってつべん

ガートルード

もう一皮属鹿に 大調の靴を穿いて あり出来ない なりますよ

テクティイルスン

ガイ・ロムバード

ラス・モーガン

ツブのお稽・

ピル・ロビンステア

パの権力

ジャン・ガーバア

イキ・ブル・マラかないようなかないよう

アンドバルスンス アート・ショウ には田田

用会ツルベ

1 × + 11 ×

社業 交 響

七〇 人 〇 日。丑用土日本 ぎなう

語 童 (開券符任董早)

を疑|サギ|つ

快の 1月 なお力見

水荷 スし 兵物 のま

き運子し法

んび 供上 間フ

辛证 证子 证子

-

河花 布

平和の英雄

た縄

百番二山藤 大郎大吉 和小和 コーニー

天利

太恩桂卿

がからがあず

テユーク・エリン

こス

ジョニイ・ノーブル

ウエイ管証券職

秋一

丼ぎなう

サン 日食養少女 四重奏曲 四重奏圏 (八月廿日治郷開贈者) 八月廿日迩 たたちのが舟の が舟の 伯林國立歌劇場管絃w ハンス・ロスパウト羽 草花 し唄 死ク

モニック管証果物でイルハマ ナタンタイン カニックシ ニー管柱祭画 着行歌を 大 遠の ヴァ サンスオ・ソ ・レが ル・ チミ 1 アオ・愛出家宿ススケイノ・ロックスケースでは最初 アレクサンダー テイノ・ロッシ ニノン・ヴァラン

マルセン・ラス 能 子 奏曲 赛力モ 原南のよる夜・月はマストに 皇軍勝事の 歳 東

2 舞頭明 敵 で戀てラ 森宮川はるのります。 豆酸 二豆 山山 山藤本子二三古 和かせ せここ スキ

立ヤボン玉曲利・

松平見

新鐵道唱歌

のさい

とくやき

丸昇 幼兒唱歌

戸の夕舟

千蒜

嘆きを

だ切は八月十五日限り。詳細は最寄 が切は八月十五日限り。詳細は最寄 のコロムピア特約店で側間合せ下さ いませ。

の初歩

Columbia

保健司ではこの概

然骚!

喊聲亂れ飛ぶ壯美なシ

を滅道することになつ を滅道することになっ が現にあるといはれる がはこの程に来月早々

障碍

ースのス

惠七 空人保田 京川東北 三 新原 京川東北 三 新原 京川東北 三 新原

高着○第 高着○第 3 1

東京へ護送

通化省公署警務應衛生科波多 特佐は同省内における夏期傳 整病發生性混織告のため、世 一日来京 保健司當局上防疫 野策を打合中であるが、通化 野家を打合中であるが、通化 軽を傾めて、同地方の住民は 種を極めて、同地方の住民は では赤海及でコ レラ様の大腸カタルが目下蔓 では赤海及でコ レラは、この大路のでは水海及でコ した。

本勝・ブス、二十歳迄男三 大、十五歳迄女一人へ猖 大、十五歳迄女一人へ猖 を女二人へデファリヤ、二 十章迄女一人へ強 ・一十二歳迄男一人、七歳

七歳迄七人、十五歳迄二人 二十歳迄二人、二十五歳迄 四人、三十歳迄九人、四十 歳迄一人計二十五人 で赤痢が多敷を占めてゐるが

に於てはこ

抽嘉內菊南眞昭榮古洋風星天駒和升障

保健司

近く施寮班を派遣

マクワ等與へることは危険とされてゐる、特に廿五歳より三十歳迄の元氣旺盛の男子に上、患者の多いのは元氣に任せ暴しする點に、暴食して夜更しする點に

大連関連して

から堂

務

東邊道地方

一帶に

ッ

百萬間、金額構込、初代社長店を大連市に置き、資本金二選びに至つたが、同身社は本

局、 奉天鐵路局設立 愈よ今秋を期 連、奉兩鐘道事務所は統

合

あと包機餘に

もに完機の域に達する譯であれてより、右により、認局が決てより包で右により、認局が決てより包が不路局に配備される模様である場合、

部では廿三日午後一時より庭部では廿三日午後一時より庭 新役員推薦決定 國通)協和會率天省本 のに事もあらうにロシャ料理 あり、又性病療防趣間がある いても既に慶娟演動が を対理店絶対反対だと論じて のに事もあらうにロシャ料理

行一手販賣、政府公報の關東 「一手販賣、その他滿洲國關 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 では今回臺灣情優のため新京 として大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を して大いに菅務の風気強感を

胃い林檎、パナナ、氷水、桃 原因するもので生水、生胡瓜原因するもので生水、生胡瓜

歴 でそんな事をいつたら笑われ でそんな事をいつたら笑われ でそんな事をいつたら笑われ でそんな事をいつたら笑われ ででそんな事をいつたら笑われ ででそんな事をいつたら笑われ までそんな事をいつたら笑われ まず でそんな事をいつたら笑われ まず でそんな事をいつたら笑われ まず かいます いっぱい かいま かいま はい こう はい かい こう はい かい こう はい かい こう はい かい こう はい こう にい こう にい

の足跡にこの意義がるレースの若納断然追込み、遂に若約の若納断然追込み、遂に若約

ないといふ理由はどう」ないといふ理由はどう」 國情緒で 緒の全部だとはいへないが

は終った、

然馬(古外馬)二、二 新旭 系久保田 一 新旭 系久保田

穴 着想 馬番號 4 3 2 1番號

九韓馬(抽古)大昌 大昌 二、〇〇 古家

描古方向 經德 悪久保出 電高 こ 高尾

二、 ○京 查 市 要 古家

半脳髓で生き

題者は精んど平常の人と變りによか、しかも る女

等の消化障碍が動の日本人に一

これが起きすると飛躍が母體の中にある部分を聴置することが出来なくなり情原病の経験を起して來なくなり情原病の経験を起して來なくなり情原病の経験を起して來

であります。 であります。 であります。 であります。

若素(わかもと)

足斯患者の手當 も遠ふのは曾然でありますが も遠ふのは曾然でありますが 第二は身酸や薄物についてる 高麗を除くことであります、 る麗を除くことであります、 がついてをりますから患者を がついてをりますから患者を がついてをりますから患者を がついてをりますから患者を がついてをりますから患者を でもの着物と潜型へさせることが必要であります とが必要であります を関にさせ、なほ温かくしま す、身體を動かせば動かす程 で、身間を動かせば動かす程

に出来る丈け早く毒ガスのあると 気を吸はせるやうに心懸けれる所から数ひ出して新鮮な空 気を吸はせるやうに心懸けれると これと同時に酸素を簡約することでありますから、良者に必要な事は身體を溜かくすに必要な事は身體を溜かくす

ることになりませろからこ」 では単に家庭で出來ますとこ では単に家庭で出來ますとこ

ん、いざ戦時となりますれば、家に一任しなければなりませましても瓦斯則者

(日

防毒と救護(下)

が何より大切でありま

陸軍中獨大尉

10

家庭にお

ける

心主義を顕津中心主義に動更心主義を顕津中心主義の満展に伴ひ從來の清津中

十三名を出した

羅津に移轉

香機勝撃げての防疫陣の網を くなって跳梁をほしいまゝに してゐるが、七月一日から廿 二日の間に新京署管内に於て 上であるが、七月一日から廿

3 2 1

空 空 空 的 久 是

濇

傳染病患者

鮮鐵道山

務所

第四には注意深く看護することであります、どんた病人に 致しましても看護が大切なことは申す迄もありまありません、殊に瓦斯思者は安静にさ せることが最も大切でありませ すから、教護所等へ選びます すから、教護所等へ選びます にも機架とか自動車を使いま にも機架とか自動車を使いま しても決して歩かせないやら 第五には患者を救ひ出したり 野面には患者を救ひ出したり 事者を対してかかせないやら に致します たのません、次には各瓦斯につ

など、大切であります。 は毛布とか湯タンボであた。 ます、けれどもこれは各家庭 は毛布とか湯タンボであた。 などのはないのには安静にさせる んから成る丈安静にして早く たが何より大切であります 教護所で手賞を受けることで すれと同時に酸素を飾約する あります クシヤミ 瓦斯と たが何より大切であります か像族互斯等で咽頭とか限を は毛布とか湯タンボであた やられました時は五〇倍に潜 (傷に毛布とか湯タンボであた やられました時は五〇倍に潜 (傷に毛布とか湯タンボであた やられました時は五〇倍に潜 (傷に毛布とか湯タンボであた やられました時は五〇倍に潜 (傷に毛布とか湯タンボであた)

光景を申上げて見たいと思ひます。それは今から二十餘年前一九一五年五月卅一日のこと、霧の都といはれるロンドと、霧の都といはれるロンドと、っ大空もこの日許りは綺麗

たもの等を使ふこともありまた。とか、現は晒粉を水で練つ流、ガソリン、胡源油などで油、ガリリン、胡源油などで 前の年の秋から始 立つて居りました 峽を

ルた無特になってをりました 突然その明るい大空の一角か らゴウゴウと鳴り響く底領味 の悪い陰巌が市民の耳を襲つ 市民達は不安の而特不氣味なた「ハテナ」「ナンダラウ」 とり情き「ツェッペリンドン防空飛行場から一齊 指して短ひすがらう 潰してゐるロ

ルやクリッケットの選手まで 塩健でビール工場に働き毎ロ 塩健でビール工場に働き毎ロ

(シドカップ - 英國 - 健園 ・ンといふ當年三十三歳の青年の内臓は全部あべこべについてみることが攻近の臀偏のか姿がでかれた、心臓が右診察で環見された、心臓が右診察でではあるのを始め胃、腸での内臓機関が全部を の位置乃至形狀を呈してゐ

新 50 占海 60 占海 60 占海 60 占海 60 占海 60 占河 60 占河 60 占河 60 占河 60 占河 60 克里迪勒

内臓「あ

一年常校熟人」の域に恢復してある、その經過はまづ整想を立ったが、第二、核復の最も質時取もどし個性の類別は古った、核受性で手術直後は感情を抑むである。との影響は古るに対ってある。大のには、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野陰は、大の野に立った、一時に立った、手術であるといかが今でも折々何の理由もであるといかのである。

脈硬化の人

初老に達して なほ三十代の元氣

スの新外馬は初日

新京競馬 第一日目成續

学医庭家

海外ニュース

に養生すべきか?

動脈硬化、肥満型のが消化障碍に惱む

にタミンB等が含まれてるて、駅 ・ いち音楽(わかもと)には、多

ますが、一旦病薬に関った場合には身間の残べに乗じて、無難には明確の残べに乗じて、無難には野性の経験には野性の代謝です。だから難防や無理が機能に対談を凝してゐる。は胃臓と寒盆の濃肥を最めに、動脈に慢性へ「フェ酸肥き薬(わかもと)は胃臓と寒盆の濃肥を最めて、動脈に慢性の影響を脱さ、野脈が、結び、

電で立面しますからす場かえれや能を立面しますからす場かえれや

正常な衝震も失されてきますから整が変更すると共に、また血液の

ます。心臓病や筋腫病、肺腫腫化 食を主とし、悪、煙草、を酢郁する 無に向ってくるのであります。ゆかず脂質が多数して悪薬してき、すから注意すべきです。食物は薬、結核その他の慢性病も私々から欲のので、気熱分の脂質がうまく は、この炒の人に最も起り易いで 正常な情報も気されてきますから

ふことを老います。 このインシュリン件外を行 糖尿病に特効ある 榮養素の發見

この外に酵素やビタミン、発気が含むされてゐて、改酸語 養素が含むされてゐて、改酸語 養素が含むされてゐて、改酸語 ではインっ

関にあつてはグリコーデンの呼ばれて、 対域に続する機能させ、また。

景品付大賣出し中

た ナ上からも慢も大明なビタミシBが音素
た ナ上からも慢も大明なビタミシBが音素
が、して確実に併も早くなつたと云はれてるま
が、して確実に併も早くなつたと云はれてるま
す。このビタミンBに加い数の際にたとや戦
でありま 三十圓命品意

設を多くし且抗療性循環と稱過を関戦して再發特に神経再 不徹底な治療は経

居る人もあるがそれは大いに 認識不足であると思ふ。抑々 が居るかけで支那の内地に

一であると單純な考へを持つて橋附近の夜間演習が原因なの

のであつたが、これでも数ケ月 であつたが、これでも数ケ月 して戦の福島大将が聯合軍のは、で施治へ乗り込み海長を指揮

と各國人を敦ひ

たて聯合國の代 が大で聯合國の代

私たちは川の中であめんぼう

4年合津スミ子

なによりおもしろいです。 川の中には小魚、日高、ふな いでゐます。目高さへられし さらに歌いでゐるのですから なたちはなほられしくてたま

とはしつていく。そして下駄を良いで川へはいる。私もはいつた、男の人が、あみをもいった。男の人が、あみをもれなだくし」なんていつでされなだくし」なんていつでされなだくしなんでしてされなだくしなんでいる。

洗面。七時十分からは、朝食 日は六時三十分割床、検温、 日は六時三十分割床、検温、 大会には、十六日は整理

熊岳城の温泉聚落から

「先生、川へはいつていいですか」

製鋼しる関連の人数は多くその 製工を扱いであったから容易に北京城の関は解けず それに加へて支那政場の官兵 までが譲続をとつて復業を始 までがなるとしても正式に

ハル・ビ・

マイ寺院より・ト

レーチー

聊 司祭大僧正

ココライ中央

先生、川へはいつていい

川あそび

北清事變を回顧し

伊藤痴遊さん

の新講談

治療はり始めに

充分に

長岡陽院長 長

るのが特徴です

られてある通りですが、口のられてある通りですが、口の性は毎月の月經時



特にロ中を清潔に 口腔異狀

手術は避けたが安全です

ても元通りになるものでなく か 覆つてしまふやらなことが か 覆つてしまふやらなことが 段々歯を覆ふやら ばなりません。この月經初潮 蓄時から趨ぐきが腫れて増殖 してくるのは何か内分泌との 態係があるといはれてゐます が詳しいことは判つてをりま せん。

本注意にすごすと腫れた歯ぐ きと歯との間に不潔物がたま つで化膿を來たし、膿がた まるやうになり、謎に厄介な 歯槽膿漏にまでなつてきます 從つて月經初潮密時には特に

土用もけふは丑の日、お暑りとお茶漬が頂きたくなりま さも照りつづきますとあつさ 土用もけふは丑の日、お暑 【材料】 て切りまぜ合せて鹽をふり押ーマンを熟湯につけ、冷ましれのまへの胡瓜と四ツ割しビ りし質の入つたもの

たつて水氣を拭きとつて切り 洗つて水氣を拭きとつて切り くひ取り魔をつめ半日乾し、白瓜をニッ割として種子をす

した後のお夕食に、また暑い

正者でございませう。 これから季節にふさはしいお渡物三 で 物にいるはしいお渡物三 で 中上げませう。 香のたかく、色のあざやかな盛りで食慾のないお壺硐飯に から ちゅう 茶 匙 少一三五 々杯ケケ

手い目の鹽水一方辛子、 ら一つの標準治療形式

につけてしぼり、一方意はタテに割つて辛い目の

おける が重くても日本人では 五號迄で六號以上の注射は行 が大なる人も脂肪の重量が大 が大なる人も脂肪の重量が大 が大なる人も脂肪の重量が大

少なり一ケ

然し年ら吾人が現在日本で施 行すべき脳微法としては従来 ルバルサンと、二回の蒼結卿 の筋肉内注射を適度とする。 一回量は男女共體重一キログ ラムに就きネオサルバルサン うムに就きネオサルバルサン 人は四號乃至五號といふこと する必要がないと主張してある。何となれば早期微遊にあっては患者が若年であり、比較的健康である。又微毒が新しいから微漆による内科的疾患がない。 入れ置く可きである。 は上の如くにして一療法単位 にネオサルバルサンの量にし て約四、五瓦から六瓦注射する。大約十本から十二本にな 状態に於てのみ五日に とする時は心臓や腎臓 血清反應を檢查 ルサンの減量を考へに にてのみ五日に一度注 だてのみ五日に一度注 がで大量を注射せん がで大量を注射せん

て未だ陽性に出る時は三―四 週間休んで更に第二回の「クール」にかゝる。かくてニー 三「クール」を少なくとも資施すべきである。 蒼鉛劑はサルバルサン一本に對して二本

ふの番組

○、○○ 日曜禮拜(哈州濱) 一、ルピン南崗セントニコライ中央寺院より中橋一 一、新 一、新 一、新 一、新 一、新

司祭大僧正 中央寺院聖袱縣 中央寺院聖袱縣 中央寺院聖袱縣 中央寺院聖袱縣 九三〇時報京三二八〇、三〇中報

長岡田國一

密旨行衛下

狭守に暗然として言つた。「後を追って来た所司代酒井若

等別市防護園長 ・告知事項・電組 ・告知事項・電報 ・寄京) ・会の護り のの護り

の羽お伽歌劇協會

で立立を表する。 で立立を表する。 をでは、 をできる。 をでいる。 でいる。 馬上密音を敷せて怪人和妻は 疾騙した。それを追ふ新撰組 をれを待ち受ける資本和泉等 の志士、密旨を中心に大歌闘 一然し密旨は無事太戸志士



別れの松原・外ができょう。

八合奏(東京)

一种 變 形 妻 (大阪)

畫劇

神變稻妻

0

新興キネマ連中

五二〇 東京大相撲 選兄=新京康總會館前相撲 場より中 防空ニュリス・ユ (東京) 大阪より

(名古屋)

で図民に吹き込み徒らに敵領 心を挑發した為めに関の計で軍を北京よ で図民に吹き込み徒らに敵領 心を挑發した為めに例の古北 日本兵の進出となつたのである。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となった。 日本兵の進出となったのである。 日本兵の進出となったのである。 日本兵の進出となったのである。 日本兵の進出となったのである。 日本兵の進出となったのである。

は、から起つてきた事件である。 は、以上の事情を當時の事實に省 は、して見たいと思ふ。

抵抗力の衰へがちな

夏こそ肝油の服用季

株に多枝は源之助に藍乍ら標 をさへ感じてゐるのだつた。 東南禪寺の境内で眞弓は稻妻 「進ふ事が出来た。密旨は京 快よくそれを引受けた。翳の士に届ければならぬ。稽妻は

高級肝油が發見されたこと。

2 従来の量の多い網肝油より

数百倍も濃厚にヴィクミン

イクミンAとDとであることが判ったこと。

1 肝油が効くのはあの臭い油にあるので

然し肝油も時代と共に一懸致しました 用することは思ひもよらねことでした へがちな夏にあの河を、多量に毎日

ますと昔の人は驚くてせう。あのベッ 「夏も肝油が築に服める」など、言ひ

業だった」 つた一番正しく一番寂しい言大義親を滅す、それは儂が習 り淺香新八郎、大友柳太郎 血雪母子塚

3 この高級肝油を消化のよくないゼラチンカ

術にあつて、普

等院と呼び 中

30

としたが、娘飼弓の練めでやっと思ひ止った。あれ程自分でに味方してくれる稻妻様に関って決してそんな事はない必ず届けてぐれるに遠ひないと質弓の心は響で同志の急をと質弓の心は響で同志の急をな思慕の感情さへ湧き上つては仄か

して居れば、譯を奪

賃夏でも柴々と連用することが出來ます。 定され、毎粒均等に含有してあり如何なる 量は最も進歩した科學的の裝置で嚴重に検で三四個で足り、そのヴィタミンADの含べ一粒肝油ハリバは小豆大の小粒で、一日医

でて

を見上げま

ることがいるない

ははは……モノサシつでは、夏子のセナカは極けるした。夏子のセナカは極けるした。単筍裏のネズミも追び出せるしさ」できるこでは交さんは、頭のではないといいます。

から飛び込と、ドブンと水

ルーヘッと解けて沈んだ

Nといふ有名な女優から聞いた話だが、彼女日く―私は特性に対して批判の手紙やいろ人形だとか、外國のお菓子だとか……ある時でした。とか……ある時でした。また何時もの美しれました。また何時もの美したの職がだらうと喜んで、開きがいたらうと喜んで、開きがいたのは幾重にも幾

をする人だらう、とその逸り 主を恨まずにはゐられません でしたが、よく見るとそれは 非常に精巧に出來てゐる蛇の 皮で造つであつた玩具だつた のでする。 当ますやらに、お送りします。 か入れてあつて、それにはへ 蛇の皮は魔除けになります。 かますやらに、お送りします したが、しかし開けた時は今 したが、しかし開けた時は今

常豆ばか あるみたいな男だと思つ あるみたいな男だと思つ たら、そんな気がしますね と當人仲々気嫌がいょ、 と當人仲々気嫌がいょ、 と當人仲々気嫌がいょ、 と言人中々気が聞もさるもの、ま ナト大連では事らり野鶏 アルの研究に没明して、今

慶應看護婦會

原梅ケ波町三・十

ね

管

話。五六六九番

流小數 教授

宋松接骨院

是非人

视町三一目七(銀座町道)

はねつざ

帰博麦屋

マピスト無視

刀綜合教授

今辨慶整骨院

四タイプライター満洲 | 平 間 時

雇はれるなら

李 等關胃 節腸 疾炎病

永樂派遣婦會

東一條橋語九州堂療院

3

外慢性語病

かま

三回治療後 無効返金 一語野町テララ

稲 垣 輝 安 ・いのだ。

り喰べて を可といっぱ をの同二郎 の同二郎 でなく

落で實務に役立た以といった が文學をやるものであるとの 一つの観念をもつてみれば、 上帳面な講談本的なサラリー マン達にとつて、事實このことは言へをであらう。併し乍 と、自順落や、實務に役立ためことを一種の誇りとし文學 をやるものは、自墮落であり と、自順落や、實務に役立た めことを一種の誇りとし文學 をやるものは、自墮落であり といふのは一つの虚疑であり といるのは、自墮落であり とし文學 をやるものは、自墮落であり をである。だから純北も その意味で言つたのでなく彼 自身もその考へで居るのでは ない。又世の文學者もこんな ことは塵程も思つてないので ことは塵程も思つてないので

夏一日

がれた威勢のい 1800 い 1800 い

右、左を辛りじて馬車夫に諒 解せしむる程度の徹底した費 × 26

二三日私は神妙に伏せつて居めづらしく風宿をひいてこの らが、浦人は消語を私りが、浦人は消語を私りが、浦人は消語を私

「文醮」八月號が卷頭に載せたこのソ聯がへりの轉向「文醮」八月號が卷頭に載せたこのソ聯がへりの轉向「文醮」八月號が卷頭に載せたこのソ聯がへりの轉向「文醮」八月號が卷頭に載せたこのソ聯がへりの轉向を指かれてゐることを大禮事賞と信じて、その興味で讀者が立とは出來るのだが、格別の感銘も與べられない、一次整理、大月號が卷頭に載せたこのソ聯がへりの轉向を著は文學の創造者になるにはもつと苦勞が必要であらり

お見郷の客郷軍に左標なら 看護婦が逃げる昨日の 氣易さに國訛り書く見舞妖 見舞客

東山 出願手被新京羽を 東国 五八二五里 東国 五八二五里 東国 五八二五里 東国 五八二五里 東国 五八二五里

易宿泊所

高流性の百貨店 高流性の百貨店 が東川東三條通り入島小學 が東川東三條通り入島小學

家博名录

淋病梅毒

タイプ印書 翻譯・立案・代書 一般語で記述 看板は

古光堂療院

安心散

3

電(3)二七四七

勉强引受 三泰公司

ロシャ菓子

永榮町二丁目四 (實山岸行前)

首出处元

梅 簡軍

18 五人六七 五人六九

賣買

興安大路四一九

電話(二)二六〇七番

みどり茶園

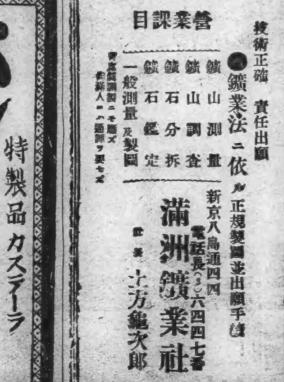
新茶入荷

商廳御用達

製麺差五場

大阪高船株式會社 大阪高船株式會社 大遊支店 第2——五一 等京事務所 43四〇八九

專屬荷扱所



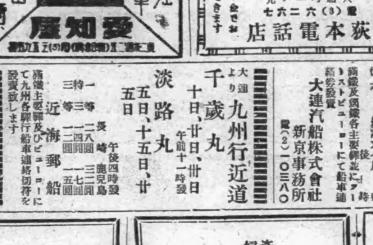


田

洋

行





田島

完

產婆派





き生 れらは人々に變に關心をも る悩がなく る悩がなく としてもそ としてもそ と大衆との

| 院長の蹊で御見郷腰を上げ

枕元いきなり

氣見舞西瓜の

于切

が官應や會社に出ると自墮 桃北好澄が、文學をやるも に見輝を述べれば細い手を伸ばし 三 休 見郷狀これも醴儀の中のものいさむ 見練容泪の顔で元氣づけ

坊

宁行福 一 度

大和運輸公司 農産物麻袋の準備有

三省堂製本所

友社 新弄類中東町曙 町作製田市

部公 **速迅切一扱**取

話時金融 京土地館物會計

十百二千五郎 ((8 唯 日) 個

間熟日日東菊

夏五十二月七年二十和縣

(司法物法事業主書)



400米

十一秒三、

滿洲國于君、千五百米に新記錄

强競技

左近、高索達、任允誥、山下宗)二、明大チーム(最下宗)二、明大チーム(最下宗)二、明大チーム(最下宗) 1、中国一郎 2名)(金克煥、平田一郎 金源標 李乙綱)

祭費珠(滿)三四

農產課講習生

卒業記念

アルン

G.

室貨

炊事

個名フランスルテル ひんかの設備あり

日下跨電犯人を捜査中であるるので常局では事件を重視しるので常局では事件を重視し

を金十個を直轄に差出したので係員が姓名を尋ねると三笠 のたがこの奇特な女性に係員

四、山下宗平田一郎(平田一郎(明本田一郎)

對明大交職競技終る

同軍の得断左の通り 同軍の得断左の通り 一二、二、一、監備 一二、二、一、監備



い頃からの心の友

後接會を組織してくれたに對し、 長等に挨拶を述べ養食をとも 長等に挨拶を述べ養食をとも にして午後二時頃連れだつて 相倖場に現れたが此の日の双 葉の面上は來補以來の喜色に 燃へて愉快そうであつた「寫 里大分縣に覇郷の際に友人が郷 提影したものである】 集の面は始めてにつこりほころびた、正に日本一の笑顔に ある、互軀をゆすつてぼつり くと出る双葉の錆びのある 、医臓をゆすつてぼつり 人第二世双川氏は愉快な夕食 大郷二世双川氏は愉快な夕食 を振り盡きせぬ思出話に夜の あけるのも知らず、廿四日朝 双葉山を伴つて司法部を訪問

協和會創立五周年

前提して

けふ記念式學気

曾館落成式

協和のタ

国家以後」並びにワー・ナー。 国家以後」並びにワー・ナー。 意縁を設車して興安橋附近に京縁を設車して興安橋附近に原務登口設二十九列車が南新

脚安橋

鐵

上に小石

危く椿事免る

金の涙ぐましい赤誠譜を綴つ てゐるが二十四日新京署を訪れた一女性が 甚だ値少ですが遠日防空演 習のため献身的努力をされ た防護國の慰勞の足しにで もして下さい

孫が可愛

か

てよすの

で擧行されるが式次第は次の 日午前十一時から同會館講堂 日午前十一時から同會館講堂 得た金を

北支事變勃發以來統後の熟誠は衛に盗れてゐるが、わけても小國民の至情を動かし既にられてゐる折柄左の少年達はいづれも兩親から或は先生にいづれも兩親から或は先生にいづれも兩親から或は先生には各戸を訪れて草花を賣り歩は各戸を訪れて草花を賣り歩



本部で

滿洲帝國武道會 けふ暑中

稽古納會

新京商業道場に全員二

五日あじあで

-

た、圏長宮原廣次氏はホテルとで來京、大和新館に 宿しとで來京、大和新館に 宿し 北米カリフオルニヤ州在留邦

つく豫定である【寫慣は膠着 ハ月二十日出帆で野米の途に ハ月二十日出帆で野米の途に

滿鐵列職社員 けふ所葬

半から大子 堂で神式にそれ 一半から大子 堂で神式にそれ 一半から大子 堂で神式にそれ を領域の



乞ふ
名望者は本社廣告部迄はがきて申込 電話譲り度し



満鮮武者修業に

虚波して心よく探納得達 **△新發路帝** 校琴尾和開

謹

した

ヤ第二世軍來京

特神にもとる行いをやるも も限らなかつたが剣道をやるも を対して、 今後とも術よりも精神的方 面を剣道で磨き上げ大和魂 をうち込んで質の脳関日本 の認識に努めやうました、 の認識に努めやうました、 の認識に変替れば來年から 要に出かけ新京に二泊の上二 サロン ドウゾ從前に倍して御愛顧御引立賜り度お待ち申上げます
扱而今度は微力ないら私共姉妹でおでん陣太鼓をダイヤ街に開業致しました 富士に務め居りました節は色々と御贔負に預りまして有難ふ御座いま

住宅を求む 満洲興業銀行 旅 強 課 金 3 3 三 4 九 二

位

太

滿洲 最近滿洲鑛 鑛業 協會 査 料 第 業事 情

本書は寒に唯一最良なる の豐富 價金二圓郵稅十二 排州線業界の島順間 内容の正確 新京與安大路五三四號振養鄉末一九二三三 四四四百六六

材

煙草落し 射的遊戯 新式名古屋銃も揃ひました 市内密都中本マ裏通り

感もなし、
「なっと、
の表表に
の表表に
の表表に
の表表に
可の
の表表
の表表に
可の

性胃 症・頭重痛・ヒステリ 腸病・神經痛・脚氣 腦溢血・肩頸擬り・耳鳴・めまい重痛・ヒステリー・精力減退 山下 至自 午 被 七 時

案内 書遊星

踊り子から

神經衰弱·慢性諸

本事か?」

「まだで御座います」

「三百層と云へば大金でないか。

ればならいけ

というではすればなられ、それ

つて少々かりか

から育へかけて重が耐くのは、ど

と 『その方は、治事方衡門から、』

門さんが、密しまざれに背後か

突かれた大郎右衛

「お寅ッ!」

田虫・水虫・

定評

突然、大きな響で呼ばれて、

20

濕疹・とびひ

更店還製路中央飯店前

不店電話(8)三一人五

単語(ミン川川四五

1を御試し下さい。 病病に今スグヒンタ

タイプライター印書

新京説町青鍋ビル

高野都瑠子 (m) 11 m(木)

歌れツー

とへどんな不気に

と云つても動かね競響で

附き様が、事件の模様を合はぬ 「いや、さらではない、此の血の は此の震動の血だし

きめる事は出来ない。

「そ、それがどうも、彼に怪しい

めてゐる。

思ひますので、

「左根で御座います。

その節が何

(N)

幾代の過去(甘)

今。気が附いて見ると、七首を振透りであつたかも知れぬ、悪代も ていかにも、現場はその方の云ふ (百六十一) (統計は 全林

は、ゲッと脳つて返離が出来な 自分の良心までも倒れない。勧敵 「あの男? 右衛門を殺すやらな者の心窩里は 『跳ってんては物らぬ、外に治郎 「さうぢや、確かに男ぢゃ、男で

都右衛門に借金のある者とか…」 ちゃない」 見よ、たとへば、治都右衛門を怨 みに思ってわるものとか、酸は治 『しますと、ほ、外の客の中にで 心質りの者をよう

い連盟的が、他人は悩れても、 なければ却々一哭きに出来る相手 の観察の散散の観色は、見る(い眼光の一覧を刺されるぞうなそ めるやうな、主緒正の 杢



に に キンメ本位復中築 家 消化·殺菌·救急 實所を朝に夕に御活用

〇生間各業店にあり 等等本館 守田治兵衛

菌力は豫防

栗です。

目科業營

其他材料一式 新星

兒玉疊商店

電話三ー二二九〇番

便定 五二十十 試錢





キ、メ本位懷中築



祝町テ見子堂前

室町二丁目公學校前(風殿ビル裏側) ぶたまんぢゆう (3) 四シ 五ゴ ニニ Oナ 番 に用答贈御

地球印葉書台紙卸

花田

薄利多質(出前は最も迅速に)

新京名物



本

年

0

美術寫

真、

優

秀族技

術

暑

中

見

地球印薬書が一番安イ

御

n

滋養美味

天下一品

衛生、清潔

親 風船チウ 切 75 店



家 H 大回後の取扱は K 保險は大きくて確實な 保 險 電話(三)五六三〇

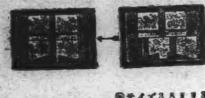
目科業營 表 譜 藤山疊商會 官 衙御用油 松鉱二一四七三八番







Balda-Werk





大山通



タケ

+

店

三笠町二章(3)五二三六







服





待望のカメラランイックスの

姉妹機

ラ新



夏の

◎ 件



徳に致します 無何にても配確は出 フター ラ 水 東亞 各號で揃居ます 一號、二號、三號 號藥房 (8) 三三大四

大木の七 二五二六

新 三浦屋質 電三一三七七五番



